

別紙「評価基準」

- 1 ソリューション提案及び実証実験等の実施案の評価事項
評価項目や評価の視点等は表1「提案評価項目一覧」のとおりとする。
- 2 ソリューション提案及び実証実験等の実施案の評価方法
 - (1) 評価
各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行う。
 - (2) 評価点
評価を基に表1のように評価点を算出する。

表1 評価点の算出

配点	評価点		
	A	B	C
5	5	3	1
3	3	2	1

3 提案者の評価および選定の流れ

- (1) 1次審査で対象としている評価項目について、委員長及び委員が与えた合計点で、提案の総合計点を決定する。
- (2) 総合計点の上位の提案から1次審査の通過提案を決定する。通過提案数は、委員長及び委員の合議により決定する。
- (3) 2次審査において、提案者からのプレゼンテーションやヒアリング実施後、再度評価を行い、委員長及び委員が与えた合計点で、提案の総合計点を決定する。
- (4) 2次審査の総合計点の上位の提案から、実証事業の実施候補者の選定を行う。
- (5) 実証事業の実施候補者は、委員長及び委員の合議により、採択数を決定し、点数が上位のものから順に実証実験の実施候補者とする。なお、同点となる提案があった場合、委員長及び委員の合議により実証実験の実施候補者を決定する。

4 その他評価および選定に関する事項

- (1) 提案及び提案の事業者が、募集要項の諸条件等を満たさない場合は失格とし、評価項目の各項目において著しく劣る内容等がある場合も「不適」と判断し、失格とします。
- (2) 提案内容に虚偽の記載があると委員会が判断した場合は、評価点数の合計に関わらずその提案を失格とします。
- (3) 提案者数が一定数以下の場合、1次審査を省略することがあります。

表1「提案評価項目一覧」

評価項目	評価の視点	評価基準			
		A	B	C	配点
技術面	①実証実験への理解度	評価の視点を踏まえ、十分に全体像を理解した提案がされている。	課題はあるが、評価の視点を踏まえ、全体像を理解した提案がされている。	評価の視点が踏まえておらず、理解度の高い提案がされていない。	5
	②ソリューションの的確性	評価の視点を踏まえ、ソリューションの的確性が十分に記載されている。	課題はあるが、評価の視点を踏まえ、ソリューションの的確性が概ね記載されている。	評価の視点が踏まえておらず、ソリューションの的確性が記載されていない。	5
体制面	③実証実験実施に向けた柔軟性	評価の視点を踏まえた、柔軟性に優れた対応が期待できる。	課題はあるが、評価の視点を踏まえた、柔軟な対応が概ね期待できる。	評価の視点が踏まえておらず、期待できない。	5
	④実証実験の実現性	評価の視点を踏まえ、優れた実証実験を実現できる記載がされている。	課題はあるが、評価の視点を踏まえた実証実験を実現できる記載がされている。	評価の視点が踏まえておらず実現性が低い。	5
実験後の見直し	⑤本格導入の実現性	評価の視点を踏まえ、本格導入に関する優れた提案がされている。	課題はあるが、評価の視点を踏まえた本格導入に関する提案がされている。	評価の視点が踏まえておらず、本格導入が見込めない。	3